

第4章 対象事業実施区域及びその周囲の概況

沿線の地域特性に関して、入手可能な最新の文献その他の資料により把握した結果は下記に示すとおりである。対象事業実施区域⁽¹⁾を含む周辺市⁽²⁾は、方法書と同様とし、愛知県内で、犬山市、小牧市、春日井市及び名古屋市の4市とした。なお、名古屋市では、守山区、北区、東区、中区、西区、中村区及び中川区の7区が対象事業実施区域に含まれる。

4-1 地域特性の概要

愛知県は、日本列島のほぼ中央にあり、三重、岐阜、長野及び静岡の各県に隣接し、南は太平洋に面し、伊勢湾及び三河湾を望んでいる。西部は、木曾川によって造られた濃尾平野とその東側の尾張丘陵からなり、また、尾張丘陵が南に伸びて知多半島を形成している。中央部は矢作川に沿って上流に三河山地在、下流には岡崎平野が形成されている。東部は、豊川に沿って上流に設楽山地と八名・弓張山地が、下流には豊橋平野が形成され、また、豊橋平野からは渥美半島が伸びている。

愛知県の「土地に関する統計年報（平成24年版）」によると県内総面積は約516千ha、このうち森林が約42%、宅地が約18%、農用地が約15%となっている。

愛知県の気候は、暖候期の高温・多雨、寒候期の少雨・乾燥で特徴づけられる。気象庁名古屋地方気象台での過去10年間（平成15年から平成24年）の観測によると、年平均気温は約16℃、月別には約5℃から約28℃で変化し、年間降水量は約1,600mm、年間平均風速は約3m/s、年間最多風向は北北西となっている。

「平成24年愛知県の人口（年報）統計表」によると人口は平成24年10月1日現在で約7,426千人となっている。平成22年の「国勢調査」によると産業別の就業者数は、第3次産業が最も多く約64.1%、第2次産業が約33.6%、第1次産業が約2.3%となっている。

愛知県の「平成24年版 環境白書」によると愛知県内には、三河湾、飛騨木曾川、天竜奥三河及び愛知高原の4つの国定公園のほか、渥美半島、南知多、段戸高原等の計7箇所の県立自然公園が存在し、自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例に基づき自然環境保全地域が平成24年4月1日現在で15地域約292ha（うち、特別地区13地区約108ha）指定されている。

その他、愛知県の風致地区内における建築等の規制に関する条例及び名古屋市風致地区内建築等規制条例等に基づき、愛知県内では風致地区が平成24年3月31日現在で44地区約4,919ha指定されており、都市緑地法に基づき、特別緑地保全地区が平成24年3月31日現在で73地区約200ha指定されている。

(1) 「対象事業実施区域」：本章のみ「対象事業実施区域」は、方法書と同様に設定して記載した。

(2) 「対象事業実施区域を含む周辺市」：地域特性の調査対象範囲は方法書と同様とし、対象事業実施区域及びその周囲に位置する市のデータとした。